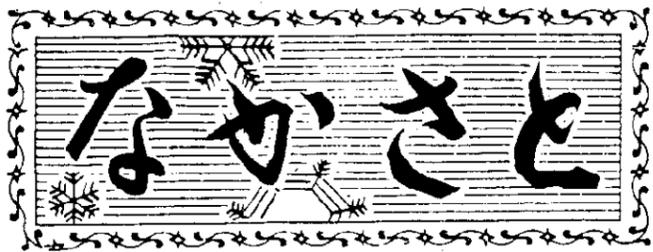


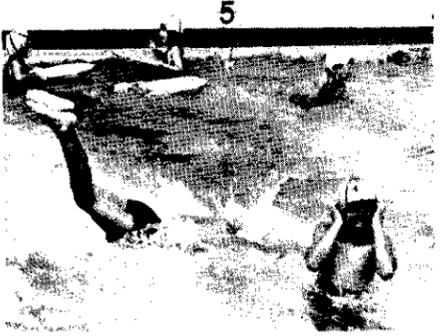
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回25日
定価1部5円



私たちの村

| | |
|-----|------------|
| 人口 | 7,212 (+2) |
| 男 | 3,581 (-2) |
| 女 | 3,631 (+4) |
| 世帯数 | 1,652 (-3) |

6月30日現在



子ども天国 夏休みだ!

「梅雨明け宣言」の遅れている今年の夏だが、村内の小、中学校は25日から夏休みに入り、各学校のプールとも一段と水しぶきが高まってきた。プールサイドで、子供会行事の楽しみを話してくれる小学生の丸い目が輝いていた。

身体障害者有料道路 通行料金割引について

近年における有料道路の整備に伴い、歩行機能が失われている身体障害者が足代りとして自動車を使用する機会が増大している実状に鑑み有料道路の料金が割引されるようになりました。

◎割引を受けられる対象者
一、下肢又は体幹の機能に障害を有し、身体障害者手帳の交付をうけている者。
二、右記に該当する者が足代りとして、自ら運転する乗用自動車

無料開放について

このたび北魚沼郡堀之内町の六花園では三菱財団の助成を得て、精神薄弱者の施設では全国では初

お知らせ

めてと思われるフィールドアスレチックを設置いたしました。つきましては、広く地域のみなさんから利用していただき、施設に対する理解を深めていただきたいと思います。

(利用規則)
一、利用する者は、所定の用紙に記入し、六花園長に提出する。
(用紙は中里村役場社会課にあります。)

二、利用時間 午前九時～午後五時まで
※詳しいことは中里村役場社会課へ問合せ下さい。

八月の休日救急医

| | | | |
|---------|------|-----|---------|
| 八月五日(日) | 富田医院 | 神明町 | 電二二二六九 |
| 八月三日(日) | 庭野医院 | 神明町 | 電二二七一 |
| 八月六日(日) | 中条病院 | 北原 | 電七一三〇一八 |
| 八月六日(日) | 大島医院 | 川原町 | 電二二九五七 |

人生往来

最近、テレホンサービス等と称

| 氏名 | 父の名 | 部落 |
|-------|-----|-----|
| 鈴木 明子 | 健一 | 芋川落 |
| 鈴木 幸子 | 寛文 | 角間 |
| 山本 寛 | 恭義 | 小出 |
| 藤田 慈子 | 真実 | 小原 |
| 鈴木 秀昌 | 邦夫 | 角間 |
| 山本 魔美 | 慎也 | 小出 |
| 村山 智哉 | 義正 | 程島 |
| 市川 誠 | 正治 | 上山 |
| 上原 裕子 | 利和 | 上山 |

◎産声

| 氏名 | 年令 | 部落 |
|-------------|-----|----|
| 新婦 樋口 克久(三) | 西田尻 | |
| 新婦 武富まり子(四) | 佐賀県 | |
| 新婦 富井 武男(三) | 豊里 | |
| 新婦 田口 幸枝(四) | 川西町 | |

◎昇天

| 氏名 | 年令 | 部落 |
|-------|-----|-----|
| 富井ミサオ | (六) | 市之越 |
| 鈴木ヨシ | (七) | 下山 |
| 阿部キク | (七) | 新屋敷 |
| 佐藤良二 | (五) | 上山 |

◎高砂

| | | |
|-------|----|-----|
| 江口 洋 | 文男 | 如来寺 |
| 高橋 和也 | 清 | 新屋敷 |

俳句の夜

野の佛 重夫
おのえ 深雪
へんくる 海人
夕涼み行きも帰りも二人連れ、 淡雪
紫陽花に、羽の蝶の薄化粧、 独山
給桑を待ち妻假眠 岳城
長雨にむし暑き日の続きけり 海人
初もぎのナス手の口 山田
土に生きるもよ 広田タ
美の極み短かきものを水や 高
四季折の折りにほぐくむ 高
咲き盛るつつじの道を登り 高
老ら集える杜の境 広田
何一つ人に誇れるものもな 一筋
空に糸引 一筋
梅雨寒を覚えつ大根抜きおれば 齋子
朝まだき野に霧は流して 齋子
政風になびく青田健やけり 齋子
歳反路兩暗きを引 齋子

中里文芸 七月投稿

△短歌
雪どけと共に汗して作りたる 梅雨寒を覚えつ大根抜きおれば 齋子
茄子の出荷を友と喜び オカムラ
梅雨寒を覚えつ大根抜きおれば 齋子
朝まだき野に霧は流して 齋子
政風になびく青田健やけり 齋子
歳反路兩暗きを引 齋子

水をむだ使いしていませんか

八月一日からは「水の週間」です

水は、私達の生活に欠くことのできない大切な資源ですが、世界的にも雨の多い我が国では、無駄に使うことを「湯水のごとく」と言うくらいに、昔から水を余り大切にされて来ませんでした。

しかし最近では、水の豊富な日本でも水は「限りある資源」として見直されて来ており、特に昨年夏の北九州地方の水不足や、また今年も京浜地方の給水制限などに見られるように、各地で水不足が深刻な問題となっています。

このように大切な水が石油と同じように限りある資源であることをご皆さんに知ってもらい、そして水を大切にしようという心がけて頂くとう国土庁、建設省、都道府県が主催して設けられたのが、八月一日からの「水の週間」です。

私達の地域では幸いにして、水が不足するという事態はまだ起きていませんが、この週間に機会に水を無駄使していないか自分の身の廻りを見直して見ようではありませんか。

に六、七、いっばいに開いた状態だと二〇〇というの水道の標準的な水量です。歯みがきや食器洗いの時など出さずばなしのないように注意しましょう。

○洗濯でも工夫すれば一〇〇ℓの水ですむが、流しっぱなしだと三倍以上の水が必要になります。
○浴槽の水は約二五〇ℓ。せめて残り湯の半分を洗濯、散水などに利用しましょう。
○コップ三杯ですむ歯みがきでも流しっぱなしでは一分間にコップ三〇杯が無駄になってしまいま

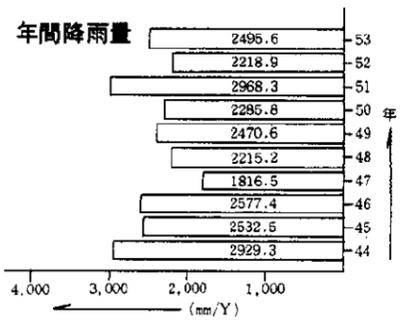
海外体験記

バンガラデイシユ

富井 利明

四月十日午後九時四十分、ようやく目的地に着く。ここで始めてB.G.J.Sの活動状況にふれた。村から村への連絡道路は国県に、いくらか陳腐しても作ってこれないというのでB.G.J.Sのメンバーが汗を流し作ったという巾一、五m、高さ二m、長さ約五百mの道である。粘土で積上げた表面は、ゴロゴロではあるが、粗末な唐傘と竹

す。○バケツ洗いなら五杯ですむ洗車も流しっぱなしのホース洗いでは六倍以上の水が出てしまします。因みに清津川、釜川の合流点の倉俣観測所調査による過去十年間の年間降雨量は別表の通りです。



で編んだザルの中に土を入れ、頭のにせて運び造りあげた。およそ現在の日本では考えられない工法ではあるが、人づくり、村づくり、ひいては国づくりと燃えるバンガラ青年達のボランティアの結晶である。農家に泊る、竹の柱と、竹とヤシ、ワラで編んだ屋根、雨季を考えているのだろうか、家全体が粘

土で積み上げ高くなっている。周囲はなにもなく吹きぬけである。家といっても粘土の上にベッドがあるだけ、台所、フロ場、便所等なものもない。もちろん水道、電気などない。各村々には井戸が一、二あるのみで、この井戸水はごはんを炊くのと、飲み水くらいで、他は雨水を池に貯え、池で洗たく、フロのかわり、洗面、食器の洗い物と水は大変に貴重品である。

ここで自分達にとつてつらい事は日中三十六度〜三十八度位の高温多湿であるのに水が飲めない事である。又、食べ物はずべて辛い、又は甘いもので塩分はほとんどなく、のどの乾きになお拍車をかける。食事は右手のみ。彼等は指だけで器用にたべる。なかなか口にこむ。メニューは、カレー汁にニワトリをブツ切りに煮込んだものと、サラダ(サラダといっても、青いトマトに、玉ネギ、キュウリのみ)彼らは、食事をする事が最高のもてなしであるといひ、やたらとおかわりを進めるが、ランプの灯と手で食べる夕食は非常に苦難の始まりであった。

四月十一日、南国の太陽がようやく

しゃなく照りつづける暑い日が続く。ここでB.G.J.Sで運営している、大衆教育センター(農村には公立の学校などないからB.G.J.S独自でセンターを建て、文盲をなくすため、子供達に文字を教え、又、大人には農法、ファミリープラン宗教などを教えている。いわば村の公民館的なものである。)を観察する。六十人の生徒に、五人のメンバーが交たいでペンザル語、上級生には英語を教える。

ここで日本からもつていった紙芝居を読んで聞かせ風船のプレゼントをする。センターといっても、ワラ屋根に、竹で編んだスノコに子供達は座り、ノートは「セキパン」である。

四月十一日、A.M十一時三十分、ドアンポトワカリ村に着く、村の広場に多勢の人々が出迎えてくれる。ここで村人と語り合う事三時間余り、日本の家について興味あるらしく彼らは日本の家は、紙で造られているのではないかといい。たぶん障子戸の事をさしているのだろう。又、一九七〇年の大水害の時に、日本赤十字のヘリコプターが生活物資、医薬品等を運んでくれた事に大変感謝していた。歌とおどりを交換し、なごやかな一時であった。

学校紹介

高道山小学校



児童数 七四名
教員数 八名

◎ 教育目標

- ・ 順序よく考え、すすんでやる子ども
- ・ 協力して、最後までやりぬく子ども
- ・ 明るく規律ある行動をする子ども

◎ 学校の概要と児童の活動

清津川の清流をのぞんで右岸段丘に立つ学校である。対岸の河岸段丘と広い空とが雄大な景観を作り出している。まじしく美しい自然である。学校の歴史は古く、昭和五十年に百周年を迎えた。この百余年、地域の人たちの心よりどころとして生きつづけてきた学校である。地域もまた、古い歴史をもつ土地がらである。子どもた

なっている。

・ 発表朝会・児童朝会

水曜日は発表朝会である。各学年が朗読、合奏、紙しばい等、学習の成果を発表する。金曜日は児童朝会である。子どもたちの手によってゲーム、リズムなどが行なわれる。

・ 山菜とり・きのこがり

春には山菜とりが、秋にはきのこがりが行なわれる。きのこがりはさわやかな秋晴れの日、部落ごとに編成された子どもたちが、みそ汁を作って楽しむ。

・ 野菜作り

昨年からの村の援助も得て、ブールわきの土地を借り、野菜作りをはじめた。秋には、収穫した野菜が給食の献立をにぎわわせ、また

第三回

村民体育祭がひらかれます

第三回目的の「村民体育祭」が次の要領で開催されます。

暑い夏の日、大いに汗をかいて健康づくりにつとめましょう。皆さんの参加を期待しています。

(一)期日 八月十九日(日)

(二)会場 田沢小中グラウンド

(三)時間 午前九時

児童会の資金になった。

・ もちつき大会

野菜作りで得た資金をもとに、もちつき大会が行なわれた。自分たちの手でつきあげられたもちをみんなで食べる子どもたちの顔は明るかった。

◎ 学校運営の方向

昭和五十五年、新しい学習指導要領の完全実施を目指して、教育計画の見直しが当面の課題である。確かな学力を身につけた子ども、豊かな心情を身につけた子ども、健康な身体と、強靱な体力を身につけた子どもを育てるために、そして、子どもの時代を、目を輝かせてすごさせるために、計画の編成と指導法の改善に努めている。

第三回

尚、詳細については、追って回覧いたします。

テントの貸し出しを行います

公民館では夏用テントの貸し出しをしています。家族キャンプやグループ活動にご利用下さい。六人用三張、四人用三張

(申し込みは早めに願います)

貝野地区婦人会が村内めぐり

至る6月27日、梅雨のあい間をぬって貝野地区婦人会の村内めぐりが行なわれました。

清津紅スカシ、葉タバコ畑、如来寺、上山の水田地帯、程島ポンプ場、スカイライン、清津峡、小松原、七ツ釜などを見て回りましたが、スカイライン展望台では景色の雄大さに、思わず歓声があがりました。



「スカイラインでの一コマ」